



2023年3月31日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮地 広志
(コード番号 6573 グロース)
問合せ先 取締役 CFO 川上 元樹
(TEL 03-6435-7130 (代表))

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2023年3月30日付で関東財務局に提出いたしました2022年12月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効ではない旨の記載をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2022年2月1日付「第三者委員会の設置及び2021年12月期決算発表の延期に関するお知らせ」にて開示のとおり、当社の台湾子会社である愛加樂股份有限公司における過去の取引や当社における過去の売上・費用の計上時期に関する不適切な会計処理への疑義について全容解明を図るため、2022年2月1日に外部の有識者により構成された第三者委員会の設置を決議し、第三者委員会による調査を行った結果、架空売上取引、不適切な収益認識取引、不適切な費用の繰り延べが行われていたことが判明いたしました。

これにより当社は、当該不適切会計の決算への影響額を調査し、過年度の決算を修正するとともに、前連結会計年度の2021年12月末時点の財務報告に関する内部統制は有効ではなく、開示すべき重要な不備が存在すると評価致しました。そのため当社は、当連結会計年度において今般の不適切な会計事案の原因分析を行い、第三者委員会の提言を踏まえ、改善計画を策定し、取締役会の監視・監督機能を強化し、監査等委員による監査機能の充実および内部監査体制の再構築に努めてまいりました。

2. 開示すべき重要な不備が事業年度までに是正できなかった理由と是正方針

改善計画に基づく対策を遂行するとともに社内業務フローを見直し、財務報告の信頼性を確保するための内部統制を整備しましたが、当連結会計年度末日までに内部統制の運用状況を評価する十分な期間を確保することができず、不備について当連結会計年度末日までに完全には是正を完了することはできませんでした。このため、当社では、2022年12月31日時点の財務報告に関する内部統制は、依然として、有効ではなく、開示すべき重要な不備が存在すると評価致しました。

3. 連結財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、すべて連結財務諸表に反映しております。

4. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見
無限定適正意見となっております。

以上